

生誕 100 年

吉田たすくと

染織家

ゆかりの作家展

河本賢治 伊藤宝城
中森伯雅 小原幹男
古澤順子 福田良徳
前田昭博 前場幸人
矢田彰儀
淀川修三

令和4年 **11月3日(木・祝)~12月4日(日)**

休館日：11/4、7、14、21、24、28

■開館時間：9:00~17:00(入館は16:45まで) ■入館無料



吉田たすく 壁掛《四季》部分 1974年 ウール他 倉吉博物館蔵

染織家。倉吉絣や古い織物を研究。郷土玩具作りや陶芸も。

たすくさんは、中学校の美術の先生。《四季》は久米中学校や大栄中学校勤務時代の作品。

長さが約4.5mもある大作！

【同時開催】
「吉田たすくと
ゆかりの
北栄町の作家たち」

生田和孝
伊藤 武
加藤廉兵衛
米本一郎

※主な作家

北栄みらい伝承館

(北栄町北条歴史民俗資料館)

〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町田井 47-1
電話：0858-36-4309

生誕100年 吉田たすくとゆかりの作家展

11月3日(木・祝)～12月4日(日)

休館日：11/4、7、14、21、24、28

倉吉市生まれの染織家・吉田たすく(1922-1987)は、兄に彫刻家の伊藤宝城、油絵を描いた伊藤武、東京美術学校を卒業した伊藤彰のいる芸術的雰囲気の中で育ちます。1945年に長谷川富三郎の勧めで創作郷土玩具の制作に、1947年には「諸国工芸店 風土」の経営に携わります。その後、1947年より高機で絣制作を始めて以降、染織の技法を追求し1963年には自宅に「たすく手織研究所」を開設します。新匠工芸展や東京、大阪をはじめ各地の個展で作品を発表し、多くの愛好者を得ました。1950年、倉吉市展の創設に参加、以後倉吉市展や鳥取県展の審査員を務めます。同時に倉吉西中学校、久米中学校、大栄中学校で教鞭をとりました。

本展では生誕100年を記念して、吉田たすくの仕事と関わりのあった作家の作品を展示しその交遊を紹介します。たすく工房で学んだ染織家の古澤順子、新匠工芸展に出品していた白瓷の前田昭博、教え子で陶芸家の河本賢治、中森伯雅、矢田彰儀、教師仲間の小原幹男、福田良徳、前場幸人、淀川修三。兄で彫刻家・伊藤宝城の作品は上神焼窯元で焼かれた作品です。



撮影：猪川敏正



①



②

- ①吉田たすく《絵羽着物「なでしこ」》部分 1985年 絹 個人蔵
- ②吉田たすく《綾綴帯「天離鄙」》部分 1986年 絹 個人蔵
- ③米本 一郎《卓上静物》 1955年 油彩・キャンパス 北栄町中央公民館蔵
- ④伊藤 武《身辺-97.冬》 1997年 油彩・キャンパス 北栄町中央公民館蔵

関連講座

「吉田たすくの仕事と交遊」

- 11月13日(日) 13:30～
- 北栄町中央公民館 講堂
- 講師：伊藤泉美 倉吉博物館学芸員
- 定員30人 (11/1～先着順)
- ※お申込み先：0858-36-4309

- 開館時間：9:00～17:00 (入館は16:45まで)
- 入館無料

【同時開催】

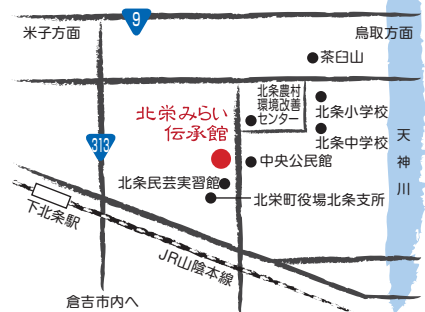
「吉田たすくとゆかりの北栄町の作家たち」

吉田たすくと親交のあった陶芸家・生田和孝、洋画家・米本一郎等や、親戚で郷土玩具の創作者・加藤廉兵衛や、兄の伊藤武(医師で洋画を描いた)の作品を展示します。

北栄みらい伝承館

(北栄町北条歴史民俗資料館)

〒689-2103 鳥取県東伯郡北栄町田井 47-1
電話：0858-36-4309



③



④